

2022年(第16回)若手外国人農林水産研究者表彰(Japan Award)
受賞者一覧

※ 年齢は令和4年1月1日時点のもの

① Dr. Tovohery RAKOTOSON

(トボヘリー・ラコトソン)

性 別：男性

年 齢：39歳

国 籍：マダガスカル

所 属：アンタナナリボ大学

推薦機関：国立研究開発法人国際農林水産業研究センター

業績名：サブサハラアフリカにおけるイネのリン欠乏への対処

<受賞評価のポイント>

受賞者は、様々な土壌で堆肥を施用した際に、土壌中で可溶化するリンの量を定量化し、リン欠乏水田への堆肥の施用により水稻のリン吸収量と収量を大きく増やすことができることを示した。アフリカの現場ニーズを踏まえた課題解決型の研究であり、今後、収量を維持しつつ、購入肥料を減らすことを可能とし、農家の収益向上に高い効果が期待できる点が評価された。

② Dr. Leonardo CRESPO HERRERA

(レオナルド・クレスポ・ヘレラ)

性 別：男性

年 齢：39 歳

国 籍：メキシコ

所 属：国際とうもろこし・小麦改良センター

推薦機関：国際とうもろこし・小麦改良センター

業 績 名：虫害抵抗性強化を含む世界的な小麦の遺伝学的改良

<受賞評価のポイント>

受賞者は、コムギの虫害抵抗性遺伝子の特定やマーカーの開発等を通じて、アブラムシ抵抗性を有するコムギ系統の効率的育種を可能にした。開発された系統群が世界各地に配付されて、コムギ育種に活用されている点及び本研究の手法が応用されて、アブラムシ以外の虫害抵抗性を持つ品種の開発に発展している点が評価された。

③ Dr. Athanasia Amanda SEPTEVANI

(アタナシア・アマンダ・セプテファニ)

性 別：女性

年 齢：37 歳

国 籍：インドネシア

所 属：インドネシア国立研究革新庁

推薦機関：インドネシア国立研究革新庁

業 績 名：農業廃棄物の価値：様々な素材の要素としてのセルロース

<受賞評価のポイント>

受賞者は、現在は廃棄されているオイルパームの空果房から、高純度のセルロースを簡易、低コストかつ環境負荷が小さい方法で作出する加工法を確立した。オイルパーム産業はインドネシア経済において重要な役割を担っているため、本研究で開発した加工法の普及と実用化により、将来的に、オイルパームの廃棄物が有効利用されることで、環境負荷の軽減と生産者の経営改善につながる点が評価された。